



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 小松精練株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3580 URL <http://www.komatsuseiren.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 哲夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 早瀬 智 (TEL) 0761-55-8000  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,637	3.0	947	38.5	1,275	46.6	920	47.9
29年3月期第2四半期	18,090	△6.2	683	76.8	869	26.9	622	25.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,572百万円(551.0%) 29年3月期第2四半期 241百万円(△56.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	21.44	—
29年3月期第2四半期	14.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	46,821	35,008	74.4	810.94
29年3月期	44,972	33,694	74.5	780.03

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 34,827百万円 29年3月期 33,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年3月期	—	6.00			
30年3月期(予想)			—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	5.9	1,600	10.7	2,200	12.5	1,600	11.8	37.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	43,140,999株	29年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	194,041株	29年3月期	193,644株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	42,947,236株	29年3月期2Q	42,808,263株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に企業の設備投資および個人消費の持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しましたが、世界経済は不確実性が高まっており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,637百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は947百万円（前年同期比38.5%増）、経常利益は1,275百万円（前年同期比46.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は920百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (繊維事業)

衣料ファブリック部門は、海外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりました。なかでも海外向けのファッション分野及び、スポーツ分野については順調に拡大し増収となりました。一方、中東向け民族衣装は概ね計画通りに推移しましたが、在庫過多の影響等により減収となりました。国内向けでは総じて厳しい市場環境にある中、ファッション分野が微増にとどまり、スポーツ分野は苦戦を強いられ減収となるものの、当部門全体は増収となりました。

資材ファブリック部門は、リビング分野においては国内需要が低調となり、車輦内装材についても北米向けが減少したことに伴い、減収となりました。一方、医療・福祉のメディカル分野及び生活関連資材分野は順調に拡大し増収となり、当部門全体は増収となりました。

製品部門は、計画通り不採算部門の見直しを終え立て直しを図っており、増収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は18,264百万円となりました。

## (物流物販事業)

物流並びに物販分野における当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は372百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、46,821百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,848百万円増加しました。これは有価証券が500百万円減少したものの、投資有価証券が1,649百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、11,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ534百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が357百万円増加したことによるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、35,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,314百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が705百万円、利益剰余金が662百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などの計上により、1,703百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出などにより、388百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額などにより、347百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べ1,118百万円増加し、5,243百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,332	5,245
受取手形及び売掛金	7,990	8,235
有価証券	2,000	1,500
商品及び製品	1,788	1,787
仕掛品	737	797
原材料及び貯蔵品	1,606	1,567
繰延税金資産	283	285
その他	159	431
貸倒引当金	△31	△29
流動資産合計	18,868	19,820
固定資産		
有形固定資産	8,760	8,557
無形固定資産	361	332
投資その他の資産		
投資有価証券	15,777	17,426
繰延税金資産	336	139
その他	869	545
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	16,982	18,110
固定資産合計	26,104	27,000
資産合計	44,972	46,821

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,816	5,173
未払法人税等	324	392
賞与引当金	412	533
その他の引当金	12	6
その他	1,255	1,007
流動負債合計	6,821	7,112
固定負債		
役員退職慰労引当金	494	494
退職給付に係る負債	3,742	3,769
その他	220	435
固定負債合計	4,457	4,699
負債合計	11,278	11,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,702	4,702
利益剰余金	22,197	22,860
自己株式	△78	△78
株主資本合計	31,501	32,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,774	2,480
為替換算調整勘定	201	162
退職給付に係る調整累計額	22	20
その他の包括利益累計額合計	1,998	2,663
非支配株主持分	194	180
純資産合計	33,694	35,008
負債純資産合計	44,972	46,821

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,090	18,637
売上原価	14,317	14,625
売上総利益	3,772	4,011
販売費及び一般管理費	3,088	3,064
営業利益	683	947
営業外収益		
受取配当金	75	83
持分法による投資利益	114	129
為替差益	—	20
その他	85	109
営業外収益合計	275	343
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	77	—
為替予約評価損	—	6
その他	8	7
営業外費用合計	89	15
経常利益	869	1,275
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	50	—
国庫補助金	—	48
特別利益合計	50	52
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	17	7
固定資産圧縮損	—	48
投資有価証券売却損	44	—
特別損失合計	62	56
税金等調整前四半期純利益	858	1,270
法人税、住民税及び事業税	239	331
法人税等調整額	△4	28
法人税等合計	235	359
四半期純利益	623	911
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	622	920



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	623	911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	702
為替換算調整勘定	△393	△42
退職給付に係る調整額	△2	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	3
その他の包括利益合計	△381	661
四半期包括利益	241	1,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276	1,585
非支配株主に係る四半期包括利益	△34	△13

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	858	1,270
減価償却費	666	629
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	85	23
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△2
その他の引当金の増減額(△は減少)	9	△6
持分法による投資損益(△は益)	△114	△129
受取利息及び受取配当金	△105	△116
支払利息	2	1
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	—
固定資産除売却損益(△は益)	17	4
補助金収入	—	△48
固定資産圧縮損	—	48
売上債権の増減額(△は増加)	△5	△238
たな卸資産の増減額(△は増加)	419	△27
仕入債務の増減額(△は減少)	△175	362
その他	357	140
小計	1,995	1,912
利息及び配当金の受取額	107	119
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△275	△327
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,824	1,703
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△3
定期預金の払戻による収入	1,500	51
有価証券の取得による支出	△2,000	△500
有価証券の償還による収入	—	1,000
投資有価証券の取得による支出	△1,700	△1,009
投資有価証券の売却及び償還による収入	662	500
固定資産の取得による支出	△877	△437
固定資産の売却による収入	0	11
その他	△8	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,422	△388
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	29	—
配当金の支払額	△302	△308
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	—	0
その他	△18	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291	△347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△954	961
現金及び現金同等物の期首残高	5,079	4,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,124	5,243

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,452	637	18,090	—	18,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	879	906	△906	—
計	17,479	1,517	18,997	△906	18,090
セグメント利益	642	32	675	8	683

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,264	372	18,637	—	18,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	882	901	△901	—
計	18,282	1,255	19,538	△901	18,637
セグメント利益	887	52	939	7	947

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。